

## 国立遺伝学研究所運営会議（第127回）議事要旨

日時 2022年10月25日(火) 10:00 ～ 11:57

場所 Web会議 (Zoom)

出席 (所外委員) 上村委員、漆原委員、大杉委員、胡桃坂委員、塩見委員、高橋委員、  
田畑委員、西田委員、森川委員 (副議長)

(所内委員) 仁木委員、平田委員 (議長)、黒川委員、前島委員、澤委員、大久保委員、  
北野委員、川上委員、岩里委員

運営会議が出席を必要と認めた者 花岡所長

事務局 管理部長、総務企画課長、財務課長、その他関係職員

会議に先立ち、事務局から、会議の成立要件の定足数（過半数の出席）を満たしている旨の報告があった。

(所長挨拶)

所長から、挨拶があった。

### 議 事

#### 審議事項

##### (1) 研究教育職員の人事について

###### ●新分野創造センター教員のテニユア付与審査について

テニユア付与審査委員会委員長である岩里委員から、資料1に基づき、審査対象者の研究業績、委員会における審査の経過及び審査結果について説明があった。運営会議申し合わせ「重要案件の採決方法について」に基づき、投票を行った結果、過半数以上の適任票を得たことから、原案どおり承認した。

###### ●新分野創造センター教員（テニユアトラック准教授）の選考について

人事委員会委員長である北野委員から、資料2に基づき、委員会における選考の経過、候補者3名の研究業績及び選考理由について説明があり、運営会議申し合わせ「重要案件の採決方法について」に基づき、投票を行った結果、3名の候補者がそれぞれ過半数以上の適任票を得たことから、原案どおり承認した。

###### ●遺伝メカニズム研究系細胞建築研究室助教の再任について

再任審査委員会委員長である仁木委員から、資料3に基づき、審査対象者の研究業績、委員会における審査の経過及び審査結果について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

##### (2) 国立遺伝学研究所フェノタイプ研究推進センターの設置について

仁木委員から、資料4に基づき、国立遺伝学研究所フェノタイプ研究推進センターの設置について、設置目的、組織の概要、センターの事業内容等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

〈意見概要〉

- ・研究技術の提供や研究リソースの作成などの受託はどのくらいを想定しているのか。

- 第4期中期計画では、期間中の今後5年間で、施設利用及び機器利用を45件以上、研究リソースの作成及び研究技術の提供を35件以上受託することを目標として示している。
- ・センターの取組は、共同研究を進めるためにも非常に良い取組だと思う。課金方式による受託型の研究支援制度となると、費用の徴収に多大な事務作業が生じると思うが、どのようなシステムを考えているのか。
  - 費用の徴収方法は検討中である。科研費などさまざまな財源に対応できるようなシステムにしたいが、構築は容易ではないと考えている。
- ・センターが受託するリソースはヒト関連も含まれるのか。
  - 生物種は問わない。ヒト関連のリソースについては、主体ではないが、作成する技術の提供は考えている。

(3) 2023年度国立遺伝学研究所国際シンポジウムの採択について

共同利用委員会委員長である澤委員から、資料5に基づき、2023年度国立遺伝学研究所国際シンポジウムの採択について、審査対象のシンポジウムの内容、審査の経過及び審査結果について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

報告事項

(1) 研究教育職員の人事異動について

所長から、資料6に基づき、2022年6月から2022年10月の間の人事異動について報告があった。

(2) 令和5年度概算要求について

仁木委員から、資料7に基づき、令和5年度概算要求について報告があった。

(3) 国際交流協定について

所長から、資料8に基づき、国際交流協定について、目的及び連携事項等について報告があった。

(4) 国内研究機関との連携協定について

所長から、資料9に基づき、国内研究機関との連携協定について、目的及び連携事項等について報告があった。

(5) 総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻2022年度10月入学者について

所長から、資料10に基づき、総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻2022年10月入学者について報告があった。

(6) 総研大の教育課程・教育組織の再編について

所長から、資料11に基づき、総研大の教育課程・教育組織の再編について、再編の目的等について報告があった。

(7) その他

議長から、10月19日に開催された機構の教育研究評議会での審議を経て、運営会議が推薦した花岡所長が次期国立遺伝学研究所長に決定した旨の報告があり、次いで、花岡所長から挨拶があった。

以上